

柳原地区住民自治協議会だより

すきです

やなぎはら

2019_{sep.15}

Vol.45

総合防災訓練

逃げ時を知る

成人式

令和を切り拓く



柳原地区総合防災訓練

それぞれの家庭で「逃げ時」・「逃げ方」を話し合っておくことが大切です。

7時40分に長野県北部で大地震が発生。長野市内でも震度6強の揺れが観測され、家屋の倒壊や、ライフラインに多くの被害が発生した」という想定での避難訓練。

7:50 柳原総合市民センターに柳原災害対策本部を設置。

同時に、各区も対策本部を設置。情報伝達体制を確立。（連絡手段は携帯無線機）。

8:00 地区住民に「一時避難場所」への避難を報知（一時避難場所は予め指定されている）。

各常会は「避難者数・安否不明者数」の把握に努め、各区の対策本部へ報告。

8:20 柳原対策本部は一次避難場所を柳原小学校に決定。各区に対し一次避難場所への避難を指示。区民は一次避難場所へ移動を開始。



避難者を報告する常会長

8:50 常会長等は一時避難場所に到着後、本部に避難者数の報告。ここで、あらかじめ区から無線報告された避難者数と照合。

以上が、「情報伝達訓練」及び「避難訓練」の概要です。今回のように大地震の場合は、一次避難場所までの「避難経路の把握」が日頃から必要。

「柳原小学校防災備蓄倉庫」「携帯トイレ」などを見分した。また市販の「じゃがりこ」を水で戻し試食した。

体育館の床にすわり避難所の体験（「柳原自主防災会会長の講話」と「常会毎にマイ・タイムラインの作成」を行った）。

(1) 長野市が水害時の「ハザードマップ」を「1000年に一度の大洪水」に書き換えられたことに伴い一次避難場所が変更になったこと。

(2) 習志野市本一町会の事例紹介。隣組等の小さな単位で住民の情報共有し安否確認を行う。平日の日中、常会長・隣組長が不在でも「防災協唱」を中心に防災・避難行動が取れるようにしている。

(3) マイ・タイムライン（避難行動予定表）の作成。水害の場合、被害が想定できる可能性が高いので早めの対策を。

「ハザードマップの確認」「警戒レベルの把握」「情報収集」

▽避難行動予定表の作成

情報の入手が大切

「長野県河川砂防情報ステーション」「県防災情報ポータル」「県防災気象情報メール」その他「気象庁」等のサイトを利用する。後日、終了後の振り返りでは、常会・隣組単位でディスカッションすることができて水害時の避難に対する意識付けができた。一般的には「警戒レベル4」で避難開始だが、高齢者の場合は「警戒レベル3」で避難が必要なることを知ることができた。



防災指導員がマイ・タイムラインを説明



市職員が簡易トイレの説明

アヤメの里復活大作戦



すっきりしました

今年は雨が多く、植物にはうれしい年ですが、新たに植えたアヤメの苗と一緒に雑草もたくさん生えてきました。7月、8月と2回朝早くから草取りの作業をしました。

今後は村山にある長野市給食センターにもアヤメを植える予定です。



草と戦う「あやめの会」の人たち

*** 写真に見る柳原の今昔 ***



戦時下の小学生

昭和19年度柳原国民学校初等科1年生。
綿入れ半てん、わら草履に足袋、配給の運動靴をはく児童も見られる。太平洋戦争が始まって3年目、戦局は益々厳しくなる。

お宅の写真を見せてください

時代は平成から令和へと移り、昭和も終わって、昭和から平成のちょっと懐かしい写真を集めます。

成人式

東部文化ホールにて式典・柳原交流センター大学習室にて祝賀会が開催されました。

対象者89名のうち57名の新成人が参加。猛暑日が続くさなかではありましたが、浴衣姿の参加者も多くみられ、暑さも和らぐひとときとなりました。

式典では加藤市長からの「優しさで感謝を忘れずに」との祝辞が披露されました。成人者代表挨拶では西沢楓真さんが20歳の誓いとして、「大人としての自覚をもって令和時代を皆で切り拓いていきたい」との決意を述べられました。

記念品贈呈では、成人者を代表して呉吉佳さんが目録を授与されました。

式典後の祝賀会「先生や友だちと語る会」では、久しぶりに再会した先生や友達同士で、思い出話や近況を大いに語り合い、大変賑やかで楽しい会となりました。



当時の担任の先生に・・・

地域公民館事業 布野区

夏休み工作教室

ふしぎなフリフリ
LEDライトをつくらう



ライトをフリフリすると★の形に



8月3日、布野地区の小中学生を対象とした工作教室を開催しました。お子さん16名、保護者を含む23名にご参加いただきました。バーサライトと呼ばれる光の残像を利用したLEDライトを作りました。

部品を一から組み立てて、自分で考えた文字や記号の表示プログラムを設定し、ライトのカバーを厚紙や折り紙で作りました。

完成後、暗幕の中でライトをフリフリすると、★や♡の形、自分のイニシャルなどが浮かび上がり、自分だけのオリジナルライトに子どもたちは大満足でした。布野地域公民館として初めての試みでしたが、楽しい夏休みのイベントになりました。

子どもたちの感想
・自分で表示する文字を考えたの

「地域で子どもを支えるには」 社会を明るくする運動

山本 京子さん（臨床心理士。現在は、長野大学社会福祉学部客員教授。）のお話。

・子どもの抱える困難さには、本人の発達特性と置かれた環境をもたらずものがある。

発達障害ではなく、発達の凸凹として捉えよう。無理解から生じる二次障害（不登校・非行・ひきこもり）を防ぎたい。

・親の余裕のなさ（子どものことより自分のことで精いっぱい）や孤立（周囲に助けをもとめられない）が虐待につながりやすい。

・大事にされることで人への信頼感が育つ。子どもを支配しようとしな

い。家庭基盤の弱さを地域社会でどのように支えるか、

親を支える・固定観念で見ない。「見張る」ではなく「見守る」・孤立させない

自分にできることは何だろうか？
まずは、温かな声かけから・・・

参加者の声

・虐待報道などでなんてひどい親だと何度か思いましたが、本日の研修を受け、その親も救われる時がなかった、もしあれば異なる結果になったと思われる。一つの声掛けの重要性を痛感しました。



かわいいハートの勾玉

やなぎはら探検隊 勾玉って何？

長野市埋蔵文化財センターの方に柳原の上水坐一元神社遺跡から発掘された勾玉を見せてもらった後に、自分で勾玉をつくりました。外のコンクリートなどで石を削りながらの作業でした。小学生の参加者もいて様々な形の勾玉が出来上がりました。



が面白かった。(小3男子)
・残像の仕組みが面白かった。(小5女子)
・自分で考えた模様がうまく表示できなかったのもう一度作ってみたい。(小5男子)
・保護者のひとこと
・住んでいる地域でこのようなイベントがあると助かります。また企画してほしい。
・工作キットでなく一から組立てたのは子どもにもいい機会だった。

区長会研修 ―できる人が、できる事を、できる時に―

区長会では、7月中旬に千葉県習志野市と神奈川県厚木市等を訪ね、防災についての研修を行いました。その中から、習志野市本一町会の取組みについて報告します。



習志野市本一町会では、「できる人が、できる事を、できる時に」をモットーに、平成20年に防災協力員体制を48人で発足させました。それまでの自主防災組織は、町会長等の役員が兼務する体制で、役員の負担が重く、1年の任期のために防災ノウハウの蓄積や継承ができず、平日は若い住民は働きに出ているために高齢者の町で、住民は防災について役員任せという状況でした。

このため、年齢、性別に関係なく、元気な人に町会長から委嘱状を交付して、ご近所お互いの気遣いと助け合いを第一に防災ご近所力を推進する防災協力員を、向う三軒両隣の助け合いを担う組織として発足させました。

その後、東日本大震災で震度5強の揺れを経験し、安否確認の全体把握に時間を要した反省を踏ま

え、街頭の消火器ボックスに安否確認点検表を保管して、災害発生時には、自分と家族が無事な防災協力員が、5〜8軒の安否確認を行うように改良しました。

その結果、仕事や生活に負担にならない程度の活動で、路地ごとに防災協力員を配置することで役割を小分けし、向う三軒両隣の助け合いから活動することになり、日頃から近隣の要支援者等の事情も判り、気遣いや見守りが自然にできるようになりました。今では126人の防災協力員によって、「生きる、生き延びる、火事を出さない」を目的に、24時間のセーフティネットワークが確立されています。

住民の皆さんは、朝夕のあいさつを交わすことによって、顔の見える関係を作っており、秋には芋煮会を開催して、炊出し訓練やテント張りの実践をしているそうです。また、防災訓練は、組ごとに初期消火訓練等を行い、ほぼ全世帯が参加して、向う三軒両隣の助け合いをより確かなものにしていきます。

本一町会は、東京のベッドタウンとして発展した人口800人で330世帯の戸建て住宅地であり、柳原地区とは事情が異なりますが、このようなお話を聞きまして、役員や住民の負担をできるだけ少なくして、どうやって自主防災組織を継続していくかについて、多くのヒントをいただくことができました。柳原地区では、水

害対策が最大の課題ですが、普段から顔の見える関係を築き、できる人が、できる事を、できる時にやるのが、災害にも強い街づくりにつながることを実感させられる有意義な研修となりました。

おとこの料理教室

今年の2回目はガラッと趣向を変えて「燻製作り」です。

一斗缶を利用し燻製器作りからスタート。ベーコン、ウインナーソーセージ、卵、チーズ、ホタテの燻製が出来上がりました。とくに好評だったのがチーズ。出来上がった燻製器に改良を加えたいとの発言も飛び交い、心配された暑さや雨も吹き飛ばす。楽しい1日となりました。



季節の野菜を持寄り楽しく乾杯



工具を使い穴あけ

内科・呼吸器科・アレルギー科
中島医院
 柳原 2222-6 TEL295-0600
統合医療センターすこやか
 (パーキンソン病、慢性疲労など)

「あたたかい心、やさしい手」[24時間、365日] 安心をサポートします。
ケアライフ柳原第2 (介護付き有料老人ホーム)
 長野市柳原2223番地1 TEL026-255-7716
ケアライフ柳原 (介護付き有料老人ホーム)
 長野市小島785番地 TEL026-236-8200
 お気軽にお問い合わせ下さい
 エフビー介護サービス株式会社

◆自治協だよりに広告を出してみませんか！
 今ご覧になっている「住民自治協議会だより」に広告を掲載しませんか。まずは事務局までお気軽にお問い合わせください。広告代は当協議会の運営費として活用させていただきます。

にいざわ皮ふ科

 長野市柳原 2221-6
 TEL.026-255-7238/FAX.026-255-7335

編集後記 知識 (理解すること) と意識 (気に掛けること) が大事です。そして、行動 (自分ができること) することも… あ

柳原地区住民自治協議会
 長野市小島 804-5 柳原総合市民センター内 TEL・FAX217-2365

いきいき わがまち やなぎはら

E-mail : yanagihara-jiti2365@drive.ocn.ne.jp
 お気軽にお立ち寄りください。



